

「平成28年中の交通事故死者数について」

○ 平成28年中の交通事故死者数（24時間以内）

3,904人（前年比-213人、-5.2%）

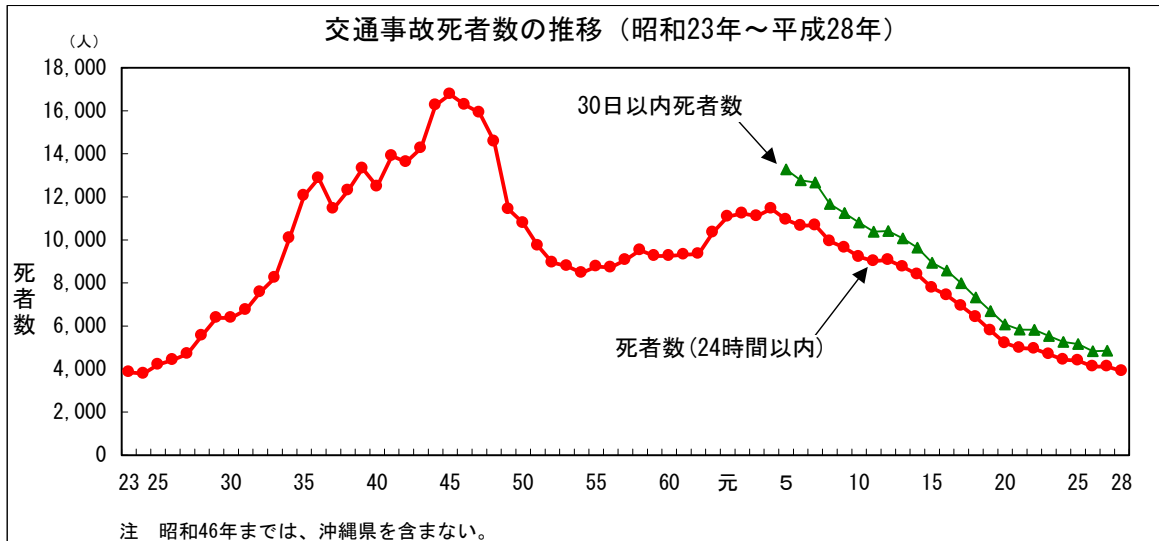
【添付資料】

1	交通事故発生状況の推移	1
2	月別交通事故死者数の推移	2
3	都道府県別交通事故死者数	3
4	高齢者死者数の推移	4
5	飲酒死亡事故件数の推移	5
6	死者3人以上の交通事故の発生状況	5
7	国家公安委員会委員長のコメント	6

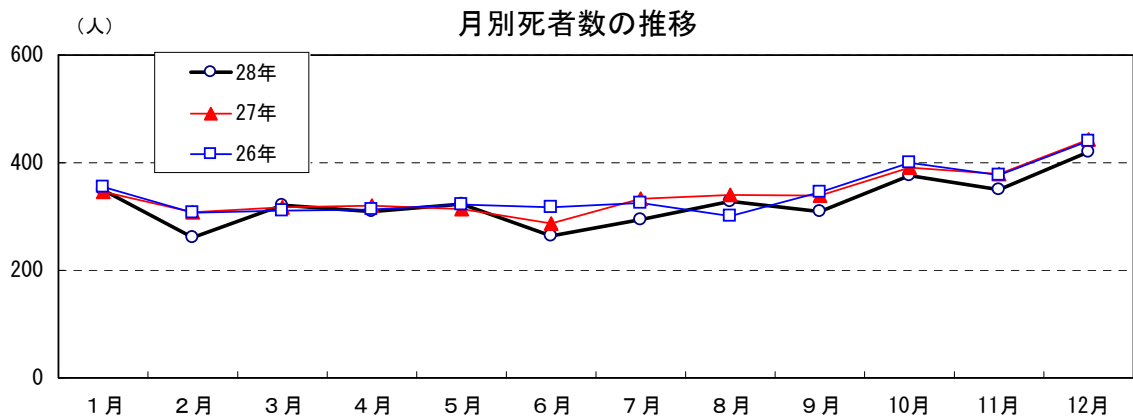
1 交通事故発生状況の推移

年	発生件数		負傷者数		死者数		人口10万人当たり	
	(件)	指数	(人)	指数	(人)	指数	死者数(人)	指数
昭和 23 年	21,341	...	17,609	...	3,848	23	4.93	30
24	25,113	...	20,242	...	3,790	23	4.74	29
25	33,212	...	25,450	...	4,202	25	5.14	31
26	41,423	...	31,274	...	4,429	26	5.32	33
27	58,487	...	43,321	...	4,696	28	5.55	34
28	80,019	...	59,280	...	5,544	33	6.46	40
29	93,869	...	72,390	...	6,374	38	7.33	45
30	93,981	...	76,501	...	6,379	38	7.23	44
31	122,691	...	102,072	...	6,751	40	7.56	46
32	146,833	...	124,530	...	7,575	45	8.40	51
33	168,799	...	145,432	...	8,248	49	9.07	55
34	201,292	...	175,951	...	10,079	60	10.98	67
35	449,917	...	289,156	29	12,055	72	13.01	80
36	493,693	...	308,697	31	12,865	77	13.77	84
37	479,825	...	313,813	32	11,445	68	12.14	74
38	531,966	...	359,089	37	12,301	73	12.92	79
39	557,183	...	401,117	41	13,318	79	13.85	85
40	567,286	...	425,666	43	12,484	74	12.85	79
41	425,944	59	517,775	53	13,904	83	14.15	87
42	521,481	73	655,377	67	13,618	81	13.75	84
43	635,056	88	828,071	84	14,256	85	14.23	87
44	720,880	100	967,000	99	16,257	97	16.04	98
45	718,080	100	981,096	100	16,765	100	16.35	100
46	700,290	98	949,689	97	16,278	97	15.69	96
47	659,283	92	889,198	91	15,918	95	15.14	93
48	586,713	82	789,948	81	14,574	87	13.55	83
49	490,452	68	651,420	66	11,432	68	10.48	64
50	472,938	66	622,467	63	10,792	64	9.76	60
51	471,041	66	613,957	63	9,734	58	8.70	53
52	460,649	64	593,211	60	8,945	53	7.91	48
53	464,037	65	594,116	61	8,783	52	7.69	47
54	471,573	66	596,282	61	8,466	50	7.35	45
55	476,677	66	598,719	61	8,760	52	7.54	46
56	485,578	68	607,346	62	8,719	52	7.45	46
57	502,261	70	626,192	64	9,073	54	7.70	47
58	526,362	73	654,822	67	9,520	57	8.02	49
59	518,642	72	644,321	66	9,262	55	7.75	47
60	552,788	77	681,346	69	9,261	55	7.70	47
61	579,190	81	712,330	73	9,317	56	7.70	47
62	590,723	82	722,179	74	9,347	56	7.68	47
63	614,481	86	752,845	77	10,344	62	8.46	52
平成 元 年	661,363	92	814,832	83	11,086	66	9.03	55
2	643,097	90	790,295	81	11,227	67	9.11	56
3	662,392	92	810,245	83	11,109	66	8.99	55
4	695,346	97	844,003	86	11,452	68	9.23	56
5	724,678	101	878,633	90	10,945	65	8.79	54
6	729,461	102	881,723	90	10,653	64	8.54	52
7	761,794	106	922,677	94	10,684	64	8.54	52
8	771,085	107	942,204	96	9,943	59	7.92	48
9	780,401	109	958,925	98	9,642	58	7.66	47
10	803,882	112	990,676	101	9,214	55	7.30	45
11	850,371	118	1,050,399	107	9,012	54	7.12	44
12	931,950	130	1,155,707	118	9,073	54	7.16	44
13	947,253	132	1,181,039	120	8,757	52	6.90	42
14	936,950	130	1,168,029	119	8,396	50	6.60	40
15	948,281	132	1,181,681	120	7,768	46	6.10	37
16	952,720	133	1,183,617	121	7,436	44	5.83	36
17	934,346	130	1,157,113	118	6,937	41	5.43	33
18	887,267	124	1,098,564	112	6,415	38	5.02	31
19	832,704	116	1,034,652	105	5,796	35	4.54	28
20	766,394	107	945,703	96	5,209	31	4.08	25
21	737,637	103	911,215	93	4,979	30	3.90	24
22	725,924	101	896,297	91	4,948	30	3.88	24
23	692,084	96	854,613	87	4,691	28	3.66	22
24	665,157	93	825,392	84	4,438	26	3.47	21
25	629,033	88	781,492	80	4,388	26	3.44	21
26	573,842	80	711,374	73	4,113	25	3.23	20
27	536,899	75	666,023	68	4,117	25	3.24	20
28	499,232	70	617,931	63	3,904	23	3.07	19

- 注1 昭和34年までは、軽微な被害事故（8日未満の負傷、2万円以下の物的損害）は含まない。
 2 昭和40年までの件数は、物損事故を含む。
 3 昭和46年までは、沖縄県を含まない。
 4 指数は、昭和45年を100とした値である。
 5 算出に用いた人口は、各前年の総務省統計資料「10月1日現在推計人口」または「国勢調査結果」による。
 6 平成28年の発生件数及び負傷者数は、交通事故日報集計システムにより集計された概数である。



2 月別交通事故死者数の推移



○ 月別死者数の推移

年	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	上半期計	7月	8月	9月	10月	11月	12月	下半期計	年間合計
平成	18年	537	427	555	490	476	472	2,957	528	569	510	548	650	653	3,458	6,415
	19	496	454	453	424	432	427	2,686	474	528	475	549	511	573	3,110	5,796
	20	403	362	391	404	387	372	2,319	449	477	398	504	491	571	2,890	5,209
	21	384	364	387	357	406	354	2,252	381	440	407	468	489	542	2,727	4,979
	22	393	354	368	356	380	357	2,208	410	437	415	469	426	583	2,740	4,948
	23	333	363	383	378	346	347	2,150	365	410	378	472	431	485	2,541	4,691
	24	326	325	342	341	310	302	1,946	347	392	373	440	435	505	2,492	4,438
	25	347	339	334	345	332	314	2,011	332	374	366	381	432	492	2,377	4,388
	26	355	307	311	313	322	317	1,925	325	301	345	400	377	440	2,188	4,113
	27	346	308	317	320	314	287	1,892	333	340	339	391	379	443	2,225	4,117
28	349	261	321	309	323	264	1,827	294	328	309	376	350	420	2,077	3,904	
	増減数	3	-47	4	-11	9	-23	-65	-39	-12	-30	-15	-29	-23	-148	-213
	増減率	0.9	-15.3	1.3	-3.4	2.9	-8.0	-3.4	-11.7	-3.5	-8.8	-3.8	-7.7	-5.2	-6.7	-5.2
	1日当たり死者数	11.3	9.0	10.4	10.3	10.4	8.8	10.0	9.5	10.6	10.3	12.1	11.7	13.5	11.3	10.7

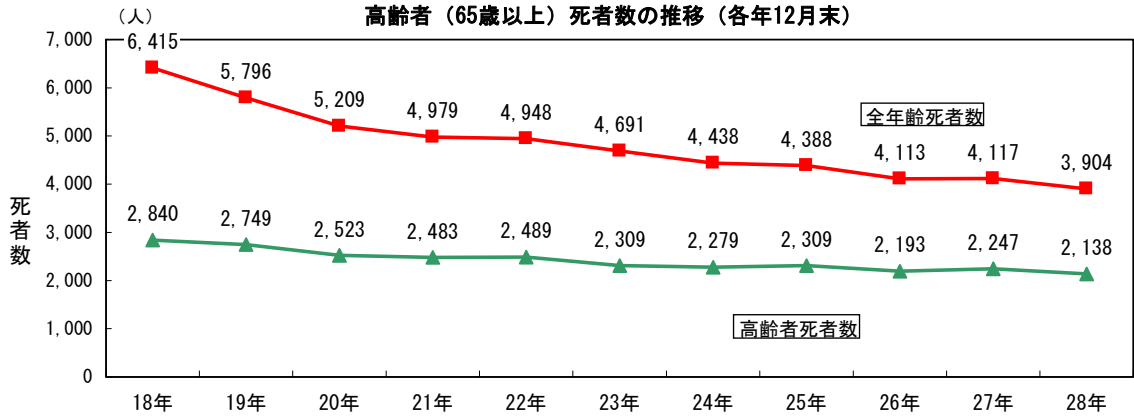
注 増減数(率)は、前年と比較した値である。

3 都道府県別交通事故死者数

都道府県名	死者数			人口10万人当たり死者数			
	26年	27年	28年	26年	27年	28年	
北海道	169	177	158	3.11	3.28	2.94	
東	青森	54	40	53	4.04	3.03	4.05
	岩手	64	80	73	4.94	6.23	5.70
	宮城	83	66	71	3.57	2.84	3.04
北	秋田	37	38	54	3.52	3.66	5.28
	山形	44	57	28	3.86	5.04	2.49
	福島	87	77	90	4.47	3.98	4.70
東京	172	161	159	1.29	1.20	1.18	
関	茨城	132	140	150	4.50	4.80	5.14
	栃木	102	98	76	5.14	4.95	3.85
	群馬	67	68	62	3.38	3.44	3.14
	埼玉	173	177	151	2.40	2.45	2.08
	千葉	182	180	185	2.94	2.90	2.97
	神奈川	185	178	140	2.04	1.96	1.53
東	新潟	103	97	107	4.42	4.19	4.64
	山梨	49	33	35	5.79	3.92	4.19
	長野	82	69	121	3.86	3.27	5.77
	静岡	143	153	137	3.84	4.13	3.70
中	富山	44	70	60	4.09	6.54	5.63
	石川	55	46	48	4.75	3.98	4.16
	福井	49	47	51	6.16	5.95	6.48
	岐阜	93	106	90	4.53	5.19	4.43
	愛知	204	213	212	2.74	2.86	2.83
部	三重	112	87	100	6.11	4.77	5.51
	滋賀	63	73	53	4.45	5.16	3.75
	京都	69	87	60	2.64	3.33	2.30
畿	大阪	143	196	161	1.62	2.22	1.82
	兵庫	182	171	152	3.27	3.09	2.75
	奈良	45	46	47	3.25	3.34	3.44
	和歌山	39	48	40	3.98	4.94	4.15
	鳥取	34	38	17	5.88	6.62	2.96
中	島根	26	27	28	3.70	3.87	4.03
	岡山	90	87	79	4.66	4.52	4.11
	広島	117	95	86	4.12	3.35	3.02
	山口	58	64	64	4.08	4.55	4.56
四	徳島	31	27	49	4.03	3.53	6.48
	香川	52	52	61	5.28	5.30	6.25
	愛媛	75	78	77	5.34	5.59	5.56
	高知	41	30	42	5.50	4.07	5.77
九	福岡	147	152	143	2.89	2.99	2.80
	佐賀	56	48	35	6.67	5.75	4.20
	長崎	49	45	41	3.51	3.25	2.98
	熊本	76	79	67	4.22	4.40	3.75
	大分	56	46	42	4.75	3.93	3.60
	宮崎	49	52	45	4.38	4.67	4.08
	鹿児島	94	77	65	5.60	4.62	3.94
州	沖縄	36	41	39	2.54	2.89	2.72
全国	4,113	4,117	3,904	3.23	3.24	3.07	

注 算出に用いた人口は、各前年の総務省統計資料「10月1日現在推計人口」または「国勢調査結果」による。

4 高齢者（65歳以上）死者数の推移



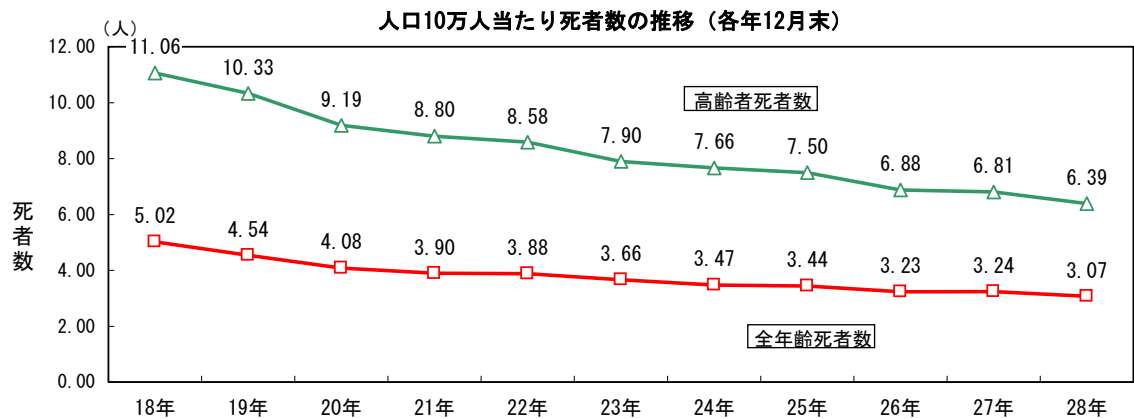
○ 高齢者（65歳以上）死者数の推移（各年12月末現在）

	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	増減数	増減率	指数
高齢者	2,840	2,749	2,523	2,483	2,489	2,309	2,279	2,309	2,193	2,247	2,138	-109	-4.9	75
全年齢	6,415	5,796	5,209	4,979	4,948	4,691	4,438	4,388	4,113	4,117	3,904	-213	-5.2	61
高齢者構成率	44.3	47.4	48.4	49.9	50.3	49.2	51.4	52.6	53.3	54.6	54.8	-	-	-

注1 増減数（率）は、前年同期と比較した値である。

2 指数は、平成18年を100としたものである。

3 平成28年の高齢者死者数は、12月31日現在の交通事故日報集計システムにより集計された概数である。



○ 人口10万人当たり死者数の推移（各年12月末現在）

	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	増減数	増減率	指数
高齢者	11.06	10.33	9.19	8.80	8.58	7.90	7.66	7.50	6.88	6.81	6.39	-0.42	-6.17	58
全年齢	5.02	4.54	4.08	3.90	3.88	3.66	3.47	3.44	3.23	3.24	3.07	-0.17	-5.18	61

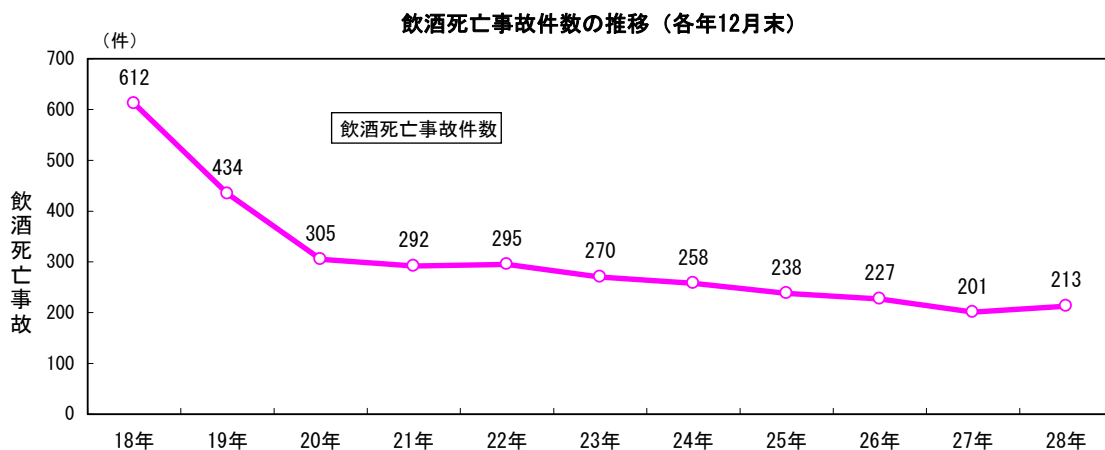
注1 増減数（率）は、前年同期と比較した値である。

2 指数は、平成18年を100としたものである。

3 算出に用いた平成28年の高齢者死者数は、12月31日現在の交通事故日報集計システムにより集計された概数である。

4 算出に用いた人口は、各前年の総務省統計資料「10月1日現在推計人口」または「国勢調査結果」による。

5 飲酒死亡事故件数の推移



○ 原付以上運転者（第1当事者）の飲酒死亡事故件数の推移（各年12月末現在）

	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	増減数	増減率	指数
飲酒死亡事故	612	434	305	292	295	270	258	238	227	201	213	12	6.0	35

注1 増減数（率）は、前年同期と比較した値である。

2 指数は、平成18年を100としたものである。

3 平成28年の飲酒死亡事故件数は、12月31日現在の交通事故日報集計システムにより集計された概数である。

6 死者3人以上の交通事故の発生状況（平成28年12月28日現在）

NO	発生日時	発生場所	死傷者	関係車両等	交通事故の概要
1	1月2日 午前2時10分頃	国道 (北海道)	死亡3	普通乗用1	室蘭市内の国道において、普通乗用自動車(軽四乗)が路外逸脱して信号柱に衝突し、運転者と同乗者2人が死亡したものの。
2	1月15日 午前1時52分頃	国道 (長野)	死亡15 重傷22 軽傷4	大型乗用1	北佐久郡軽井沢町内の国道において、大型乗用自動車(バス)が路外逸脱して崖下に転落し、乗員乗客15人が死亡、乗客26人が負傷(重傷22人、軽傷4人)したものの。
3	2月2日 午後5時20分頃	高速 (三重)	死亡3	軽四乗用1 歩行者2	多気郡多気町内の高速道路において、普通乗用自動車(軽四乗)が非常駐車帯に停車中の作業車に衝突、押し出された作業車が車外にて作業中の作業員に衝突し、普通乗用自動車(軽四乗)の運転者及び作業員2人が死亡したものの。
4	5月3日 午後9時40分頃	高速 (山口)	死亡3 重傷3 軽傷2	中型貨物1 普通乗用5 軽四乗用1	下松市内の高速道路において、中型貨物自動車(軽四乗)が渋滞停止中の車列に追突し、渋滞最後尾で停止の普通乗用自動車の同乗者3人が死亡したものの。
5	5月29日 午前8時36分頃	国道 (群馬)	死亡4	軽四乗用1 大型二輪1	太田市内の国道の交差点において、大型自動二輪車と普通乗用自動車(軽四乗)が出会い頭に衝突し、大型自動二輪車の運転者、普通乗用自動車(軽四乗)の運転者と同乗者2人の合計4人が死亡したものの。
6	5月29日 午後2時33分頃	府道 (大阪)	死亡5 軽傷1	普通貨物1	河内長野市内の府道において、普通貨物自動車(軽四乗)が路外逸脱してダム湖へ転落し、運転者が軽傷、同乗者5人が死亡したものの。
7	8月16日 午後3時26分頃	国道 (奈良)	死亡4 軽傷1	普通貨物1 普通乗用1	吉野郡地区内の国道において、普通貨物自動車(軽四乗)と普通乗用自動車(軽四乗)が正面衝突し、普通貨物自動車の運転者と同乗者1人及び普通乗用自動車の同乗者2人が死亡、普通乗用自動車の運転者1人が負傷(軽傷)したものの。
8	10月5日 午前3時49分頃	高速 (北海道)	死亡3	大型貨物2	山越郡長万部町内の高速道路において、大型貨物自動車①が簡易中央分離帯を突破して対向車線に進出し、対向車線を進行していた大型貨物自動車②と衝突し、両車両の運転者及び大型貨物自動車②の同乗者が死亡したものの。
9	10月21日 午前4時00分頃	高速 (秋田)	死亡3	軽四乗用1 大型貨物1	由利本荘市内の高速道路において、普通乗用自動車(軽四乗)が流出ランプを逆走し本線を進行していた大型貨物自動車と衝突し、普通乗用自動車(軽四乗)の運転者及び同乗者の合計3人が死亡したものの。
10	11月16日 午前11時52分頃	国道 (群馬)	死亡3	軽四乗用1 大型貨物1	安中市内の国道において、普通乗用自動車(軽四乗)と大型貨物自動車(軽四乗)が正面衝突し、普通乗用自動車(軽四乗)の運転者と同乗者2人が死亡したものの。
11	12月3日 午後5時00分頃	市道 (福岡)	死亡3 重傷1 軽傷6	普通乗用1	福岡市内の市道において、普通乗用自動車(タクシー)が病院施設内テラス及び病院ラウンジに突っ込むなどして3人が死亡、7人が負傷(重傷1人、軽傷6人)したものの。

※ 平成28年12月28日までに発生し、各都道府県警察から報告を受けたものを集約した。

7 国家公安委員会委員長のコメント

昨年の交通事故による死者数は、3,904人で、昭和24年以来の3千人台となりました。

これは、国民一人一人を始め、交通ボランティアやマスコミなど関係方面の御協力により、交通安全の確保に取り組んできた結果であります。

しかしながら、次代を担う子供が被害に遭う大変痛ましい交通事故が相次いで発生するなど、いまだ多数の尊い命が交通事故の犠牲になっております。

また、高齢運転者による交通事故が多発するとともに、飲酒運転等の悪質・危険な運転による悲惨な交通事故も後を絶たないなど、交通情勢は依然として厳しい状況にあります。

国家公安委員会としては、本年3月に施行される高齢運転者や貨物自動車に係る交通安全対策の強化を内容とする改正道路交通法の円滑な実施に加え、昨年策定された第10次交通安全基本計画に基づき、政府が目標とする「世界一安全な道路交通の実現」に向け、引き続き、強い決意をもって、子供や高齢者の安全確保を図るための諸対策、悪質・危険な違反の取締り、計画的な交通安全施設の整備等、地域の交通実態に即した総合的な交通事故防止対策を一層強力に推進するよう警察を指導し、交通死亡事故等の更なる減少を目指してまいりたいと考えております。

国民の皆様方には、より一層の交通安全の取組や安全行動の実践をお願いします。